

第3号発刊に寄せて

教務部長・教職課程センター長
谷 直 之

中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、近年、大学には、客観性・可視性をもった「教育の質保証」が求められてきており、今後、教職課程における質保証も重要な問題になってくると思われます。しかしながら、私学においては、大学の独自性、すなわち、建学の精神に基づく教育をしっかりと行っていくということこそが最も重要であり、本学の教職課程においても、今まで通り、「キリスト教主義」「国際主義」「リベラルアーツ」という3つの教育理念を大切に、この建学の精神に溢れた教員の育成に努めていくことに変わりはありません。

本学においては、教育に携わるという高い志と熱意を持った学生が集まり、例年、延べ400人を超す学生が教育職員免許状を取得しており、2019年度の教員採用試験合格者は64名にのぼっています。本年報には、普段、この学生達への教育指導にあたっている教員による研究成果が、多数掲載されています。本年報が、同志社女子大学の教職課程のさらなる充実と発展に寄与することを祈念いたします。

2020年2月